

Develop the future ～みらいをひらく～ 国立大学法人等職員として働く

1. 国立大学法人等の各機関

2. 国から独立した組織

3. 民間企業？それとも公務員？

4. 社会的使命と役割

5. 選べる専門分野

6. 事務のフィールド

7. 図書と技術系のフィールド

8. キャリアデザイン

9. 勤務条件・ワークライフバランス

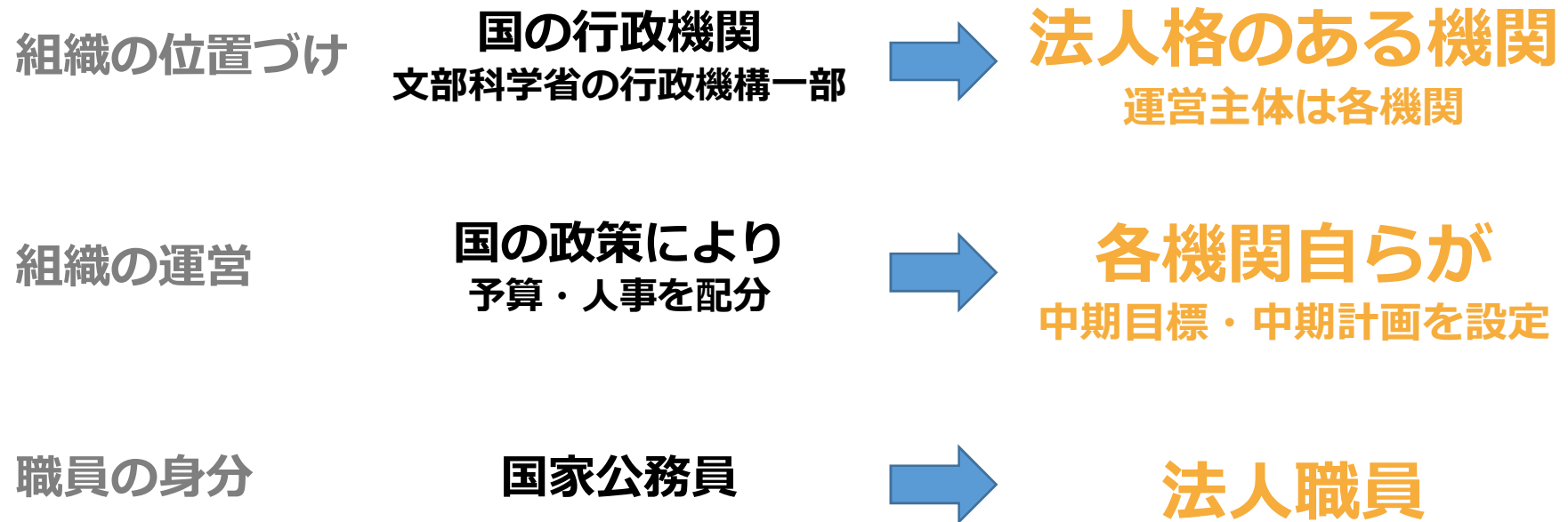
1.国立大学法人等の各機関



大学に加えて、博物館、研究所なども含まれ『等』と表現しています。₂

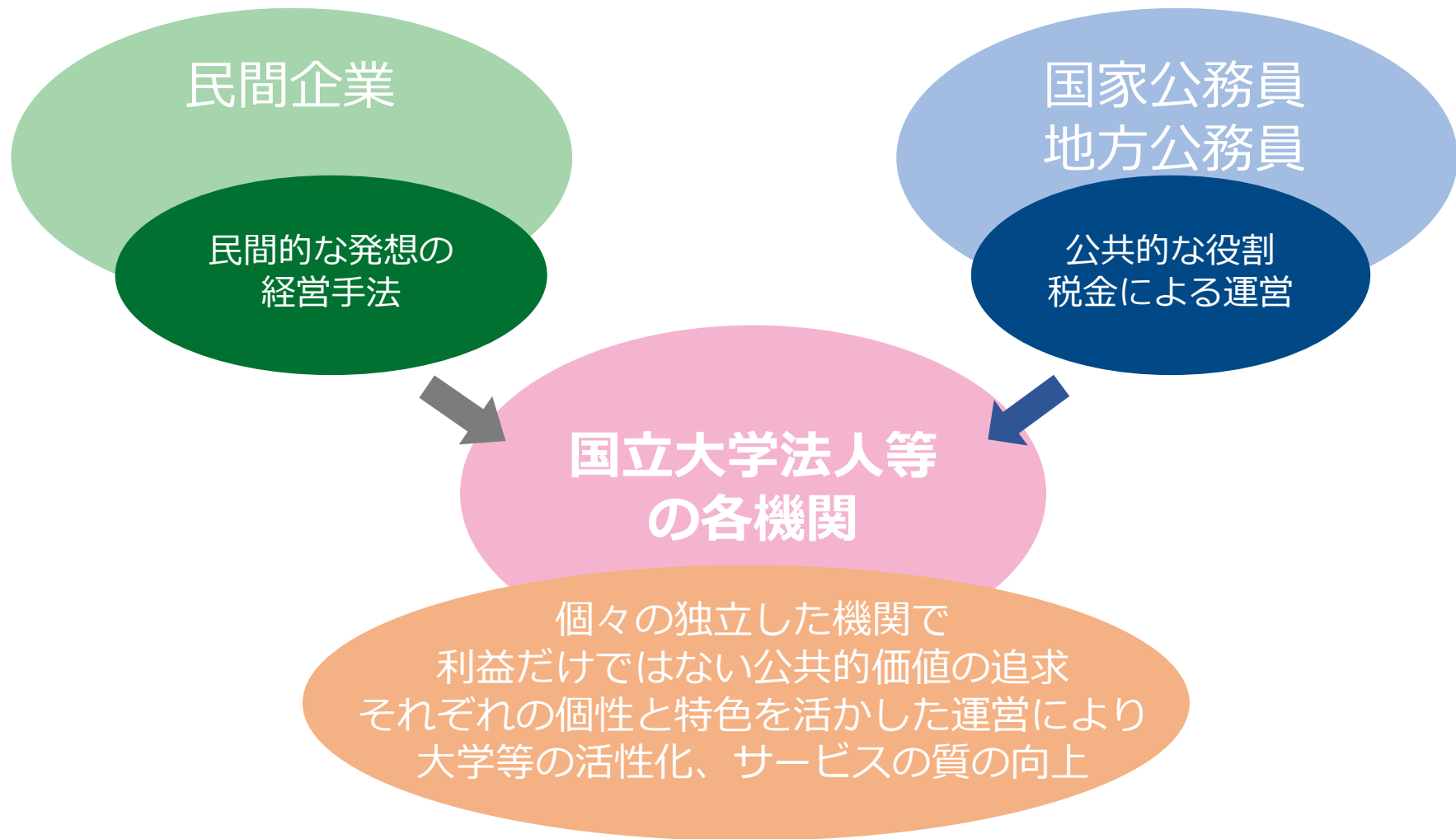
2.国から独立した組織

国立大学法人化
平成16年4月



個々の独立した機関に生まれ変わり、経営の責任と自由が増大しました。

3. 民間企業？それとも公務員？



民間企業と公務員の長所を併せ持った制度のもと運営が行われています。

4.役割と社会的使命

①教育

- ✓生涯学び続け、主体的に考え、行動できる人材の育成
- ✓グローバル化に対応した人材の育成

②研究

- ✓我が国や地球規模の課題を解決する大学、研究拠点の形成
- ✓我が国の学術研究と研究者育成の中心

③教育研究成果の普及活動・社会貢献・地域貢献・国際貢献

- ✓教育・研究の成果を地域、日本、世界に向けて提供
- ✓地域振興全般にわたる地域再生に不可欠な中核拠点機能

教育・研究を通じて社会に貢献する役割を果たしています。

5. 選べる専門分野

事務系

事務
図書

技術系

施設系

電気
機械
土木
建築

教育研究支援系

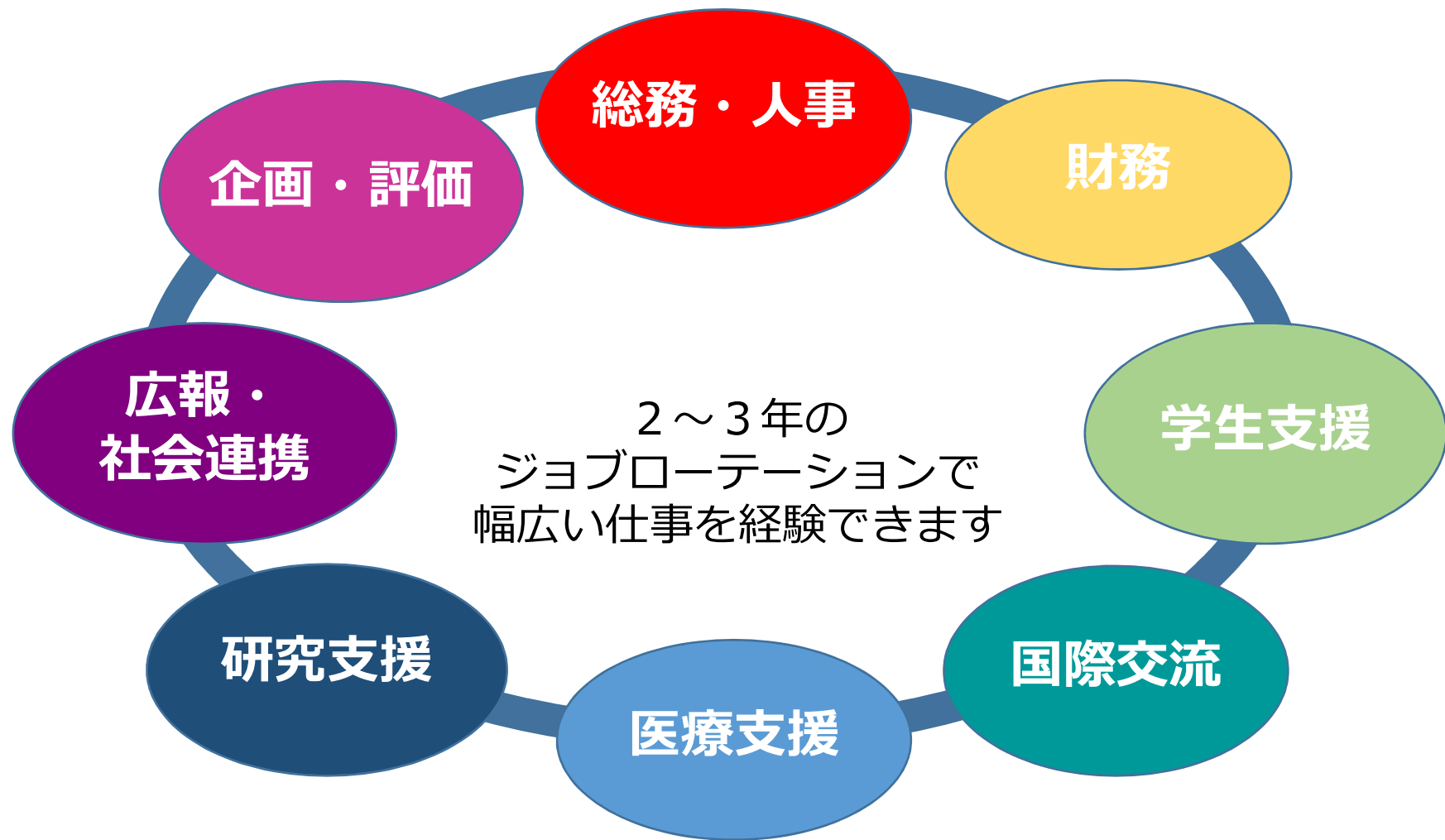
電気
機械
土木
建築

化学
物理
農学
林学

電子・情報
資源工学
生物・
生命科学

「事務系」と「技術系」にわかれ、さらに区分ごとに仕事内容が異なります。

6.事務のフィールド



どんな仕事にも前向きに挑戦していくことができる方を求めています。

7. 図書と技術系のフィールド

図書

サービス

【多様な利用者に対応】

- ・貸出、返却、利用者登録等
- ・相互貸借・文献複写
- ・資料の修復・保全・デジタル化

管理

【図書館の基盤を支える】

- ・図書や雑誌の選定・受入
- ・資料の目録・装備
- ・電子リソース契約・利用支援

総務・情報システム

【他部署・他機関との連携・協力】

- ・国内の大学図書館等との連絡調整
- ・学外からの問い合わせ・見学対応
- ・図書館システムの管理・運用
- ・情報リテラシー教育

技術系

施設系（電気、機械、土木、建築）

- ・施設設備の企画立案、施設にかかる予算
- ・施設に係る新たな設備手法の導入、施設の有効活用
- ・建物設備等の設計・積算、維持保全、施工監理、検査
- ・省エネルギー対策、環境保全、安全管理、安全教育

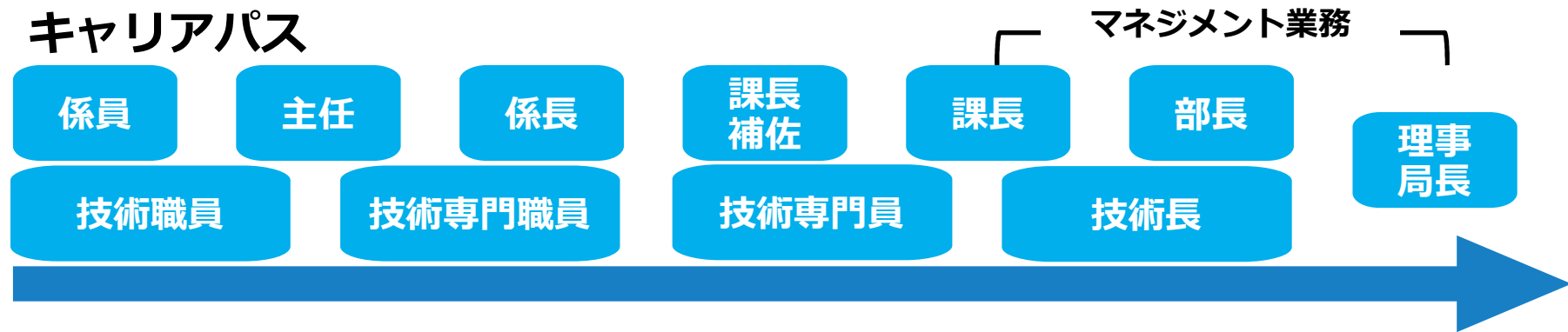
教育・研究支援系（11区分すべて）

- ・データ解析、計測及び観測技術の開発、資料作成
- ・実験装置の開発・設計・製作、工作実習の技術指導
- ・電子・光学顕微鏡試料作製、学生実験等の技術管理

専門知識を活かして機関の運営、教育・研究を支える仕事で活躍できます。

8.キャリアデザイン

キャリアパス



多岐にわたる研修

階層別研修

例：新採用職員研修、係長研修

目的別研修

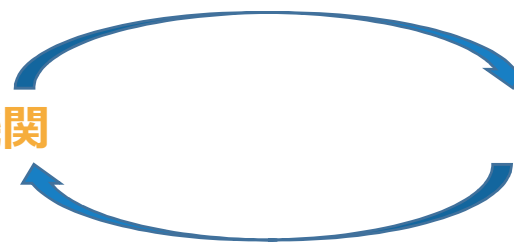
例：会計研修、外国語研修

自己啓発支援

例：資格取得支援

他機関との人事交流 (1～3年程度)

所属機関



最適なキャリアを設計するための制度が整っています。

9.勤務条件・ワークライフバランス

<勤務条件>

勤務時間：1日 **7時間45分**（週38時間45分）

（例）8時30分～17時15分：機関により異なります

休日等：土、日、祝日・休日、年末・年始(12/29～1/3)

給与等：初任給は **約18万円～22万円**（採用前の職歴等で決定）

（昇給は原則年1回1月、賞与は6月と12月の年2回）

通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当、地域手当等

福利厚生：文部科学省共済等に参加（**健康保険・年金**）、職員宿舎等

<ワークライフバランス>

子育て支援・・・・・・・・産前産後休暇、育児休業制度、育児短時間勤務制度など

休暇・休業制度・・・・・・・・夏季休暇、結婚休暇、ボランティア休暇、介護休業など

健康管理・・・・・・・・健康診断の実施、人間ドックの助成など

レクリエーション・・・・・・・・職員サークル、スポーツ大会など

施設の利用・・・・・・・・各機関の所有する体育施設、附属図書館など

多様な生き方をサポートしています。

国立大学法人等職員の魅力

全国208機関

公共性

積極的な経営

教育

学術研究

社会貢献

仕事の多様性

自己成長

ワークライフ
バランス

創造的で充実した仕事が
皆さんを待っています

国立大学法人等職員採用試験について

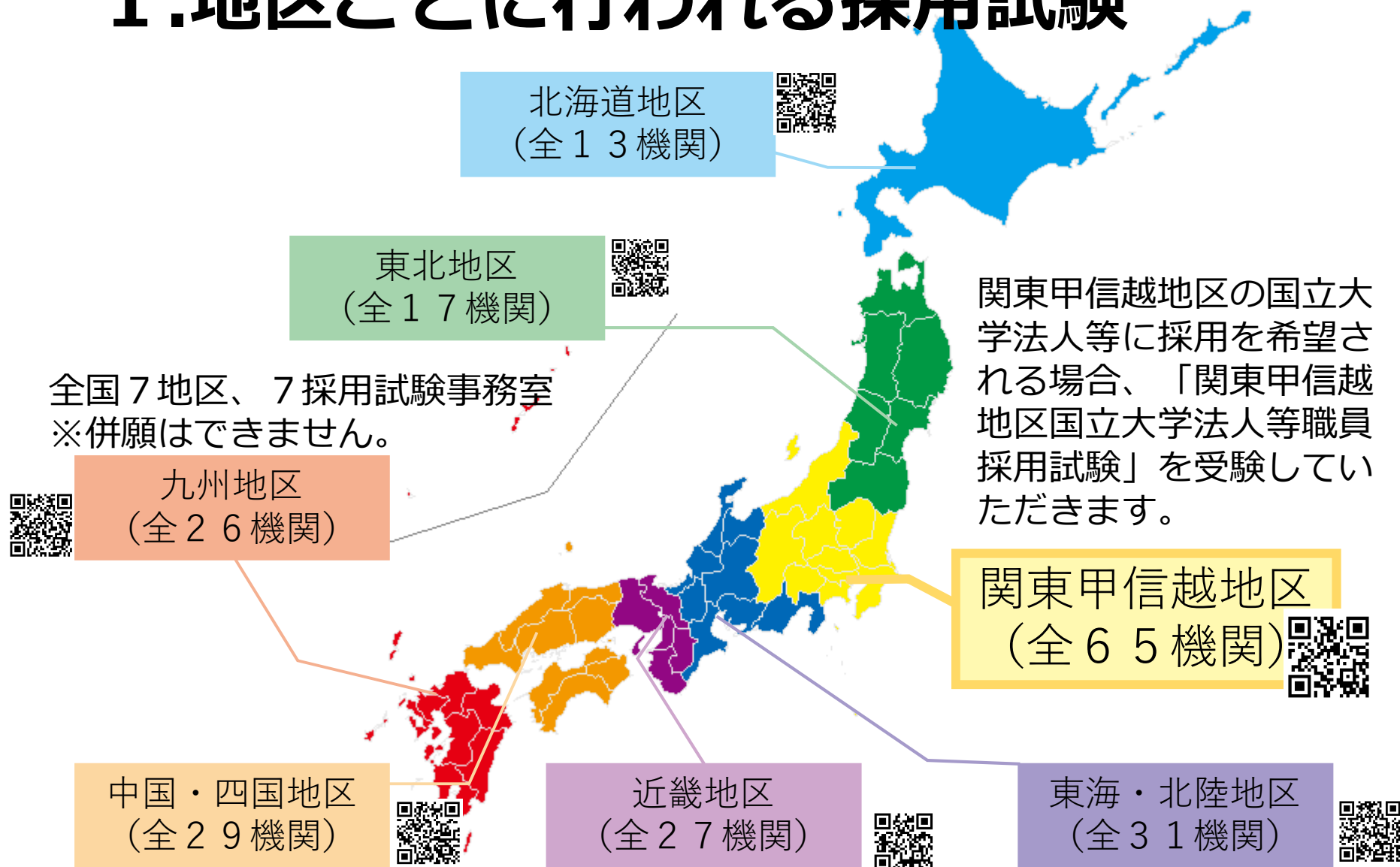
1. 各地区採用試験事務室の紹介

2. 採用試験のプロセス

3. 注意事項

4. 今後の情報について

1.地区ごとに行われる採用試験



2.令和2年度採用試験日程等

※詳細は、必ず試験案内を確認してください。

受験資格

平成2（1990）年4月2日以降に生まれた方

第一次試験

申込期間

5/13(水) 10:00～5/27(水) 17:00

※採用希望地区と試験区分を選択し各採用試験HPから申込み

試験日

7/5(日) 教養試験40題

一般知識20題（社会7、人文7、自然6）

一般知能20題（文章理解7、判断推理8、数的推理及び資料解釈5）

合格発表日

7/22(水)

第二次試験

図書のみ、
8/1(土)専門試験(筆記)を実施

機関ごとに実施、希望機関へ各自申込みが必要

（各機関HP等で、日程、申込方法等を確認）

※二次試験の前に個別説明会を行う機関もあります。

複数機関を受験することが可能

最終合格(内定)

内定応諾は1機関のみ

応諾後「第二次試験合格届」を提出

3.注意事項

採用予定数

3月上旬にホームページで採用予定数を公表します。

採用予定数はその後増える場合があります。

最新の情報は、随時ＨＰで確認してください。

4月下旬の時点で採用予定のない試験区分は試験を実施しません。＜必ずＨＰで確認＞

地区及び試験区分

関東甲信越地区の国立大学法人等への採用を希望される方は、必ず関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験を受験してください。他地区での受験はできません。

試験区分は、事務、図書、技術系(11区分)の計13区分の中から、1区分のみ出願できます。

技術系試験区分の各機関ごとの職務内容や求める専門知識等

採用予定数と同時にＨＰで公表します。

第一次試験

過去問は公表していません。例題をＨＰで公表しています。

出題範囲は、3月上旬に公表される試験案内を確認してください。

第二次試験

第二次試験は、面接考査等を行いますが、機関ごとに日程・内容が異なります。

各機関のホームページ等で確認してください。

4. 国立大学法人等職員採用試験情報



関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>



**説明会情報等も掲載しています！
詳細は、上記HPを参照してください。**

※関東甲信越地区以外の情報は、
各地区の採用試験HPをご確認ください。

採用試験案内は3月上旬に公開